

高規格救急自動車整備(更新)事業について

1 整備理由

現在、友部消防署に配備中の高規格救急車は、平成 13 年 2 月に初度登録後 17 年が経過し、走行距離数も 21 万キロメートルを超えていることから、緊急車両としての性能及び安全性の確保等が危惧される状況にあります。

以上のことから、車両更新を行い笠間市の救急業務体制の一層の充実を図る目的により整備を行うものであります。

2 車両整備事業予算額

43,369,000 円（諸経費を含む）

3 整備車両仕様概要

(1) 高規格救急自動車 1 台(救急車専用シャシ)

ア 車 両 総排気量 2,500cc 以上(ガソリンエンジン 150PS 以上)
4 輪駆動車

イ 車両寸法 全長 5.70m 以下, 全幅 1.90m 以下, 全高 2.60m 以下

ウ 乗車定員 7 人以上

(2) 装備する主な高度救命処置用資器材

ア 気道確保用資器材

イ 半自動除細動器

ウ 輸液用資器材

エ 血中酸素飽和度測定器

オ 人工呼吸器

カ 心電計(患者モニター)

キ 自動心肺蘇生器等

4 納入期日

平成 31 年 2 月中旬予定

高規格救急自動車

高規格救急自動車とは、救急救命士による高度な救命処置が行える資器材を積載し、救命処置が容易に行える室内スペースを有するとともに、救急患者に走行時の振動を与えないよう緩衝装置を備えた防振架台等を装備した救急自動車です。

※ 掲載写真は、笠間消防署に配備中の高規格救急車外観及び室内の救急資器材装備状況です。

外観(前面)



外観(側面)



室内(救急資器材積載状況)

